

## 別紙

## 研究等成果報告書

|          |  |
|----------|--|
| 研究費の区分   | 基盤研究費・学部等研究費・全学プロジェクト等研究費<br>種目：学部等研究費   |
| 研究課題     | 中・韓・日の文化交流の様式  |
| 学部等・職・氏名 | 共通教育センター 教授 ウヴェ・リヒタ  |
| 研究成果の概要  | <p>宗教と言葉の関係という問題に集中してブログを通しての情報発信を行い、論文の執筆を行った。</p> <p>論文の趣旨としては、「中国と日本のコミュニケーションの違いの原点は論語の“正名”と万葉集の“言霊”に由来する」というものである。</p> <p>中国では“正名”という「言葉で物事をつたえることができる」という楽観的な考え方があり現在のコミュニケーションに強く影響を及ぼしている。一方、日本は“言霊”という考えかたによって現在のような曖昧なコミュニケーションが形作られたと思われる。</p> <p>詳細は下記に示した論文で発表した。</p> |
| 目標の達成状況  | <p>上記の研究結果を論文でまとめて</p> <p>書名： (ソルジェ チェギホ博士定年退職記念論叢) 韓国語の歴史と文化</p> <p>編： ソルジェ チェギホ博士定年退職記念論叢刊行会</p> <p>33人による分担執筆</p> <p>刊行元： 図書出版パギジョン (Pagijong Press)</p> <p>刊行日： 2007.12.5</p> <p>ISBN： 978-89-7878-959-2</p> <p>という本に寄稿した。</p>   |
| 成果発表等    | 上記のとおり   |

注 学会発表論文等の成果発表資料を添付すること。(成果発表資料がない場合は、研究実施レポートを添付すること)